

# あひま サタタ

2015



vol.151

8



## はいっポーズ!

《訓子府地区・実郷》

大塚麻美さんと清蘭ちゃん・夏煌くん・冬凌くん  
(紹介は2ページです)

特集

- 新規就農者激励状授与式と交流研修会開く
- 夏を彩るイベント各地で賑わう



# 秋まき小麦の収穫

季節の薫り



蒸し暑さが続くなか、きたみらい管内で秋まき小麦の収穫が7月27日から始まった。春先は干ばつ傾向だったが、6月からは雨にも恵まれ生育は回復、収穫開始は昨年より1日遅れとなった。

黄金色に色づいた小麦の穂を、大型コンバインが次々と収穫。トラックに積み込み、同JA乾燥調製貯蔵施設に運び込まれる。

8月上旬からは春まき小麦の収穫へと続いていく。天気予報や空模様には注意を払いながら、収穫作業が急ピッチに進む。

(高田 陽介)

きたみらい区域の秋まき小麦作付け面積は約4,533<sup>2</sup>/<sub>10</sub>。写真は7月30日に相内地区・柏木の萩原和裕さんの圃場で行われた刈取り作業を撮影。萩原和裕さんは「春は干ばつ気味だったが、6月からは雨が降るようになり、生育はかなり良くなった。去年よりも収量・品質が期待できる」と話してくれました。

## もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「アユの土鍋ご飯」 「豆腐のサラダ」	20
○JAからのお知らせ	12
○ほのぼのの広場 ・なかよし夫婦 ・記念の一枚 ・プリティーウーマン ・大きくなったら	10
○地域だより	8
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「みんなから愛される3姉弟」	2
特集① 新規就農者 激励状授与式と交流研修会開く	4
特集② 夏を彩るイベント 各地で賑わう	6

## 表紙紹介

### みんなから愛される3姉弟

7月24日、大塚さんのおうちを訪ねると、まずお出迎えしてくれたのは未っ子の冬凌くん。お母さんが仕事で忙しくて構ってあげられない時でも、一人で遊んで待っていられるお利口さん。取材時には、歩行器に乗って元気に動き回っては、わたしたちに笑顔を見せてくれました。冬凌くんと一緒に遊んでいたのは、長男の夏煌くん。外遊びが大好きで牛舎にいても多く、餌寄せを手伝ったり、お父さんの車に乗せてもらったりするなど、今から将来が楽しみです。元氣よくリビングに飛び込んできた長女の清蘭ちゃんは、夏煌くんと反対でお絵かきや粘土遊び、テレビが好きなお友派。今は「アイカツ」や「プリパラ」の影響でアイドルを目指しています。最近の出来事を聞くと、この間の共進会で清蘭ちゃんと夏煌くんがショウマンショーに出場したことを教えてくれました。なんと、後日、町長自らが撮影した2人の写真を送られてきたそう。家族はもちろん、みんなから愛される3姉弟にお父さんとお母さんは「元氣で明るく健康に育って欲しい」と話していました。(石井 睦美)



【ご家族紹介】  
前列左から～おばあちゃんの良子さん(57歳)、長女の清蘭ちゃん(5歳)、お母さんの麻美さん(30歳)、二男の冬凌くん(8ヶ月)、長男の夏煌くん(3歳)  
後列左から～おじいちゃんのお正夫さん(58歳)、お父さんの陽太さん(31歳)なお、当日お出かけ中で不在だった、ひいおじいちゃんのお一夫さん(93歳)とひいおばあちゃんのおマツ子さん(88歳)を含めた9人家族です  
大塚さんは経産牛、育成牛合わせて220頭を飼育しています

# 新規就農者に激励状を授与

## くきたみらい管内に14人が就農

第一次産業の農業を「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事し、第二の職場としてUターンされた方、いずれも農業への情熱は同じです。農業に意欲を持って取り組む青年に、毎年、JAグループ北海道五連から激励状が贈られます。本年の激励状授与式と北見地区新規就農者交流研修会が7月3日に行われました。



▲激励状を受け取る大和慎吾さん（置戸地区）



▲激励の言葉を贈る西川組合長

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取り組む青年に毎年、JAグループ北海道五連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。本年度は、全道のJAで約450人の青年に授与されました。当JAでは新規学卒者5人、Uターン6人、新規参入2人などの計14人に授与されました。

激励状授与式は、7月3日にJA

きたみらいセンター事務所で行われ、9人が出席しました。西川組合長はJAグループ北海道五連の使命と事業内容を説明した後、「実は葉によって作られる。葉は良い根によって作られる。良い根は健全な土壌によって作られる。健全な土壌は健康な人々の手によって作られる」と話し、「農業にとって一番大切なことは土づくりであると共に、それを行う農業者が健康でなければなりません。健康に最大限の注意を払って取り組むことが大成功への秘訣である」と激励の言葉を贈りました。

その後、西川組合長から一人ひとりに「頑張ってください」と声を掛

けて激励状が手渡されると、就農者のみなさんは「頑張ります」と決意を新たにしていました。



▲授与式に出席した9人の就農者とJAきたみらいの役職員

# 農業を魅力的な職業に

## 新規就農者交流研修会で

### 遠藤正人氏講演

オホーツク管内の北見市、訓子府町、置戸町の就農3年目までの若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が7月3日、JAきたみらいセンター事務所で開かれ56人が参加しました。

1市2町とJAきたみらいなどで構成している北見地区農業振興連絡協議会の主催で、農業の知識研鑽及び情報交換などを図ることを目的として行われています。主催者を代表して西川組合長より「農業というのは国民、消費者、多くの人の健康を

守り、命を育むために無くてはならない産業である。本日の研修会を皆さんの農業人生に大いに役立てて欲しい」と挨拶。

講師には青年部北見支部遠藤正人部員を招き、「新規就農者の皆さんに期待すること」と題して講演しました。遠藤さんは自身が出演したあぐり王国に絡め、農業に対する思いを持つこと、仲間づくりの大切さを講話しました。

遠藤さんは「魅力的な農業」をテーマに「農業は仲間の絆が強く、健

康的で大きなやりがいを感じる事ができる。将来の夢は農業を子どもたちから憧れられる職業にしたい」と自身の農業に対する熱い思いを話しました。

また、就農当時を振り返り「父から農作業を頼まれた時に、何を目的として作業をしているのか、目的意識を持つことが大切」と新たな仲間達へアドバイス。支えてくれる家族や仲間への感謝を伝え、これから続くそれぞれの農業人生へ激励の思いをのせてギターを演奏。エールを送りました。



▲ギター演奏と共にエールを送る遠藤正人氏



▲遠藤氏の講話を聴く参加者のみなさん



▲焼肉を囲み新規就農者交流



▲遠藤氏を囲んで記念撮影

## 夏を彩るイベント 各地で賑わっ

きたみらい管内の各地では7月に入り各種の催しが行われました。今回は置戸町「OGF」、北見市「ぼんちまつり」、訓子府町「ふるさとまつり」を報告します。



▲会場には町内外から約4,000人が集まる

### 置戸町

#### きたみらいの 食材で後押し

～OGF～

7月5日、置戸町にて100周年記念行事の一環として野外音楽フェスティバル「OKETO GREEN FESTIVAL（通称OGF）」が開催されました。若者の力で町を元気にしたい、という熱い想いのもと、当JA青年部のみなさんをはじめとした町内の青年が実行委員となり取り進めてきました。

当日、心配された天候は大事に至らず、町内外から集まった約4,000人の観客は、出演者の熱演に魅了されました。

会場の盛り上がりもさることながら、



▲きたみらい産のアスパラをばくり!!の福原美穂さん



▲フードコーナーで販売された甘辛チキンバーガー

▲提供したメニューの一部



▲THE TON-UP MOTERSの上杉さん(右)に食材の説明をするフレミズのみなさん



▲掛け声に合わせてながらJAをアピールする参加者のみなさん

### 北見市

#### 市民へ JAをアピール

～第62回きたみぼんちまつり～

「第62回きたみぼんちまつり」が7月17日から20日まで北見市内で行われました。初日の「舞踊パレード」には市民約2,800人が参加し、JAきたみらいからも役職員や組合員、青年部、女性部、フレッシュミズの皆さん約100人が浴衣や法被姿で参加。威勢の良い掛け声に合わせてながら沿道に集まった方々にJAをアピールしました。

### 訓子府町

#### 町内外へ 青年部をアピール

～第36回ふるさとまつり～

青年部訓子府支部（高城耕一支部長）は、7月11日と12日の両日、第36回ふるさとまつりを町や他の青年団体と共に開催しました。

前夜祭の行灯（あんどん）パレードでは交通安全の呼びかけや、話題のキャラクターが描かれた行灯で参加者へアピールしました。

当日は、牧草ロールを転がして牛乳を飲む「牛乳ロール」を開催。参加者は牛乳をこぼさないよう注意しながら飲み干していました。



▲懸命にロールを転がす参加者のみなさん



▲こぼさないように気をつけながらも早飲みにも挑む！



▲見事、ラッソングレライ賞を受賞行灯で来場者へアピールした青年部員のみなさん



青年部西支部（福田政行支部長）は7月21日に留辺薬小学校3年生を対象とした食育活動を行いました。

当日は坂下修一さんの圃場で収穫前の玉葱についての授業を行いました。青年部員からは、玉葱の用途や収穫時期、病害虫、植え付けから収穫までに使う機械を実際に展示し、使う時期や使い方などについて説明。児童たちは玉葱の説明に興味津々な様子でした。

質問タイムでは「玉葱の種類はどれくらいあるのか」など玉葱についての沢山の質問を受けていました。

（梅澤 大）



▲子どもたちに玉葱の説明を行う橋秀俊地区役員

**西地域** 留辺薬  
**留辺薬小学校 食育**  
～玉葱の説明に興味津々～



▲収穫作業を行う吉田信夫さん

**東地域** 上常呂  
**作業機導入で 効率アップ**  
～ニンニク収穫始まる～

上常呂地区の吉田直人さんは、7月9日から北見市上仁頃の圃場でニンニクの収穫作業を行い、品種「福地ホワイト」をミニコン約100基分収穫しました。

吉田さんは今年、同じくニンニクを生産する仲間から勧められ、サブソイラーの後部に刃を設置した根切機を特注。昨年まで片手にスコップを持って行っていた根切を機械化することで、作業効率が大幅に上がりました。また、確実に根を切ることで、引き抜く際の茎葉損傷を防ぎ、正品化率の上昇にも繋がりました。

作業の中心を担う父の信夫さんは、「今後も研究を重ね、品質向上を目指したい」と意気込みを語りました。

きたみらい野菜振興会にんにく部会では今年、23戸が約2.4畝を作付けており、収穫後は数日間の風乾後、本州に向けて出荷されます。

（埴山 里子）



**地 域 だ よ り**



置戸町麦作部会（高谷勲部会長）は、7月23日にマイクロバスで6筆の小麦圃場巡回を行いました。役員・地区責任者・オペレーター班長の総勢21人が参加。各地区の小麦刈取り前の雑草・倒伏・仕上がり状況などを確認して回りました。高谷部会長をはじめ、役員の皆さんは、真剣な眼差しで圃場を点検していました。今年は好天に恵まれ例年になく生育が進んでいましたが、6月の降雨・低温で刈取り時期は例年並みと見込んでいました。

置戸地区では組合員67戸が約510畝の秋小麦を作付けており、収穫は7月28日より始まりました。

（神田 貴章）

**南地域** 置戸  
**置戸麦作部会 小麦圃場巡回**  
～小麦刈取りに向けて～



▲刈取り時期について説明を聞く部会の皆さん

**南地域** 訓子府  
**作付拡大を願って**  
～スイカの収穫最盛期～



▲一つずつ丁寧に小玉スイカを収穫する太田睦さん

きたみらい管内ではスイカの収穫作業が最盛期を迎えています。「きたみらいすいか研究会」の副会長を務める訓子府地区弥生の太田睦（あつし）さんのハウスでは7月18日から小玉スイカ、30日から大玉スイカの収穫が始まっています。

交配期・肥大期にあたる6月中旬から7月初旬にかけて天候が不安定で日照時間と温度が不足するなど不安はあったものの、糖度も十分でみずみずしいスイカが出来上がりました。

きたみらいでは小玉スイカには「夢の滴」、大玉スイカには「赤い宝石」というブランド名をつけ食味にこだわった生産を行い、産地化を目指しています。

エコープでの即売会も大変好評で、太田さんは「挑戦する農家が増えれば嬉しい」と作付が広がることを願っていました。

（石井 睦美）



ながよし夫婦

今年で結婚25年目

訓子府町・西富

林

ひろ ゆき  
博 幸さん(48歳)  
はる美さん(45歳)

Qお付き合いしたきっかけは？

友人の紹介により知り合いそこから交流を深めていきました。

Qいつ結婚しましたか？

平成2年に結婚しました。今年で結婚25年目になります。

Q休日の過ごし方は？

博幸さん……サッカー  
はる美さん……ショッピング

Q思い出に残っていることは？

博幸さん……三人の子供たちが生まれる瞬間に立ち会えたこと  
はる美さん……家族で旅行に行ったことと子供が成長していく姿

Qこれからしたいことは？

博幸さん……香川県に行ってみたい、景色がよく感動できる場所に行きたい  
はる美さん……京都へ行きたい

Qお互いへの感謝の言葉

博幸さん……25年ついてきてくれてありがとう、これからも一緒にいてください。  
はる美さん……こちらこそよろしくお願ひします。これからも一緒にがんばっていきましょう。

(神田 貴章)

Pretty Woman  
ウーマン



もっともっと  
活気ある女性部に！

上常呂地区・北上

山本 純子さん(61歳)

今回は女性部上常呂支部長の山本さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

◆ご出身、ご自身の性格は？

出身は紋別市で、性格は頼まれると嫌とは言えないお人好しで負けず嫌いです。友人にもよく言われます。

◆ご主人との出会い、お子さんは？

主人とは紋別で共通の知り合いを通して出会い、お付き合いに発展しました。昔は虫が苦手だったため農家には嫁がないと決めていましたが、ご縁があり結婚することになりました。子どもは5人の男の子に恵まれ、全員男の子なことが自慢です(笑)今は子どもたちがみんな実家を離れているので主人と義母との3人住まいですが、全員揃うととても賑やかな家庭です。

◆趣味特技、マイブームはなんですか？

趣味はスポーツ観戦で、息子の応援に行っていたことがきっかけでラグビーが特に好きです。特技は生花の免許を持っており、また余裕ができたならやりたいと思っています。またマイブームは主人のバイクの後ろに乗ってツーリングに連れて行ってもらうことです(^\_^)

◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は？

最近いろいろな活動に参加できるようになり、活動を通してたくさんの事を学ぶことが出来ました。またたくさんの方とも出会え一緒に視察に行ったり勉強できたり、1つ1つが楽しいです。

今後は他地区を参考にしながらもっともっと活気ある女性部になったらいいなと思っており、組織についてもっと多くの人に勉強し知ってもらいたいです。そして女性部員が増えてくれたら嬉しいです。

大きくなったら

農家になりたい！

大きい車が好きでトラクターやダンプを運転したいので農家になりたいです。

廉くんは不破隆一さん、美絵さん夫妻の二男で、サッカーのクラブに所属しており、サッカーも頑張っています。また、たまに玉葱の葉切りのお手伝いもしてくれるそうです。

(丸山 恵理)

相内地区・美園

ふわ れん  
不破 廉くん(11歳)



▲前列右側が小川吉猶さんです。お隣で屈んでいるのは西川組合長です。

部落時代が懐かしく

端野地区・二区

小川 吉猶さん(67歳)



記念の一枚

この写真は今から38年前の昭和52年3月、若芽会(わかめかい)の仲間8人で沼田町へ行った時に撮影された1枚です。

若芽会は今後の農業と共に部落会を引っ張っていこうと昭和48年頃に9人で発足。30代で1人亡くなり、端野町出身の先輩が沼田町で農家として活躍されていたので伺った際に、一夜を通していろいろな思いを話し合ったそうです。

この頃の二区第一班部落会には農家戸数23戸ありましたが、現在は7戸となり、小川吉猶さんは「若い人だけで若芽会を発足した当時は水田専業だった。昭和46年頃より転作が始まり、5~6割で生活出来ていたが、今は15~30%の農家になってしまう。面積は大きい反面、労働は昔より楽ですが、なぜか昔の部落時代が懐かしいと思う」と振り返りました。吉猶さんは「若い人たちには最新技術も大切だが、先輩方、先祖たちの話を大事にしていって欲しい」と話してくれました。

(高田 陽介)

# INFORMATION

## 女性部特集①

### JA高知市女性部が来訪!! 交流会・意見交換会で絆を深める

J Aきたみらい女性部（斉藤のり子部長）は7月1日、姉妹提携しているJ A高知市女性部と、当J Aセンター事務所で昼食を兼ねた懇親会と意見交換会を開催しました。

J A高知市とはかつて旧北見市農協が姉妹協定を結んでおり、当J A合併後、再協定を結び、昨年11月には当女性部がJ A高知市を訪問し、女性部と意見交換会を実施。その際に高知の郷土料理を振る舞って頂き、



▲部員の手作り料理を囲み行われた交流会

「ぜひ次は北見へ」という双方の思いが重なり、今回の交流会が実現しました。交流会に先立ち、斉藤のり子部長は昨年高知市を訪問した際のおもてなしに感謝の言葉を述べ、J A高知市竹内女性部長は「懐かしい面々に会えて深い感慨を覚えた。さらにお互いの縁が深まることを期待したい」と挨拶。また、J A高知市の宮脇眞道組合長は「北海道と高知で同じ農業といっても光の当て方で違っ



▲挨拶をするJA高知市宮脇組合長（左上）とJA高知市女性部竹内部長（右下）

て見える。これから女性部や職員の皆さんのいろいろな見方で日本の農業を見ていただきながら、将来につながるものにしていきたい。そしてこの交流会がその先立てとなり、実りあるものになればと思う」と思いを話しました。交流会では女性部員の家庭より持ち寄った野菜を中心に、当J Aの加工品を使用したアレンジ料理など17品の手作り料理を用意。会話が弾むなか、心もお腹もいっぱい交流会となりました。意見交換会では、J A高知市の宮脇眞道組合長と当J Aの西川組合長も引き続き加わり、農閑期の活動、加工品の取組み、部活動運営、部員の構成などについて、活発な質問、意見が交わされました。女性部員数の減少課題に対して、「J A高知市女性部は生涯、現役です」との回答にJ Aきたみらい側は驚きをもって受けとめていました。また、きたみらいの支部の統合や支部ごとの総代会を簡易な報告会に切り替えたことなどはJ A高知市側からも「参考にしたい」などの声が出ており、大変有意義な意見交流会となりました。昨年からの続いた相互訪問を機に、さらにお互いの絆が深まり、相互の発展、交流活動が今後も期待されます。（丸山 恵理）



▲交流会に参加したJA高知市女性部24人のみなさんと記念撮影

## 女性部特集②

### チームワーク発揮、親睦深める 女性部部員交流視察研修に137人が参加

2年に一度開催され、6回目の開催となったJ Aきたみらい女性部「部員交流視察研修」が、7月9日、10日の両日に札幌方面で行われ、部員の約半数にあたる137人が参加しました。

5台のバスに分かれ、初日は劇団四季「CATS」を観覧。「CATS」は18年ぶりの札幌開催ということもあり、会場は満席。行く前から楽しみにしていた参加者も多く、細部にまでこだわった会場内のセットや迫力ある演技、会場全体を走りまわる猫たちに魅了され、あつという間の3時間でした。

夕方6時半からは宿泊先のホテルにて懇親会を開催。開会のあいさつで斉藤のり子部長は「部員の半数にあたる多数の参加をしていただき、大変うれしく思う。今後も魅力ある活動を続けていくために皆さんの本音を聴かせて欲しい」と更なる発展への期待を込め、女性部活動へのアンケート調査の呼びかけをし、黒須副部長による乾杯の音頭で懇親会が始まりました。各支部混合で座った18テーブルで



▲迫熱のスリッパリレー

は自己紹介をするなど、和気あいあいとした雰囲気でした。その後、テーブルごとのチーム対抗戦でゲームを実施。

「順位当てゲーム」ではH26年度の当J A上位作付面積ランキング、当J A資材店舗北見支店の5月の売上個数ランキング、企画振興Gの職員の年齢当てランキングの3問に挑戦。どのテーブルも相談しながら苦戦していたようで、解答になるとテーブルごとに歓喜の声や惜しむ声が挙が

っていました。

次に「スリッパリレー」では3テーブルごとにステージに上がってもらい、片方のスリッパをリレーのバトン代わりに渡していき、最後の人まで回すのにかかる時間で勝負。みんなで腕を組み、悪戦苦闘していたチームもありましたが、全体的には軽快にスリッパを運んで行き、まだまだ女性部の若さが光っていました。チームワークを要するゲームを通じ、支部を越えた交流が図られ、輪が広がったひとときとなりました。

翌日は、石狩市にあるホクレンパールライス工場「ファンフアクトリーネット」を視察。食卓でおなじみのお米の歴史や豆知識、精米されるまでの流れなどを学びました。自分の体調などに合わせて選べるレシピコーナーでは、家事もこなす女性の一面も垣間見られ、家庭でも生かせる知識をたくさん吸収した見学となりました。

好天にも恵まれ、少し暑い中での長距離移動でしたが、参加された部員の皆さんはリフレッシュできたのではないでしょう

（丸山 恵理）



▲温根湯支部、留辺蘂支部、相内支部のみなさんで記念撮影



▲見たことのない米袋の種類の多さに驚く参加者



▲当JAの概要説明を聞くJA高知市女性部のみなさん

# 夏期地区別懇談会終える 活発な意見や質問が84件

地区毎の出席状況					
懇談会日	地区	組合員戸数	出席戸数	出席者	出席率
7月14日	温根湯	74	24	26	32.4%
7月14日	留辺蘂	34	15	19	44.1%
7月17日	置戸	109	34	37	31.2%
7月17日	訓子府	299	54	63	18.1%
7月16日	相内	89	28	32	31.5%
7月16日	上常呂	117	23	23	19.7%
7月15日	北見	198	47	50	23.7%
7月15日	端野	202	68	69	33.7%
合計		1,122	293	319	26.1%

7月14日から17日までの4日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族のみなさんなど293戸319人が出席しました。

JAからは常勤役員と西・南・東地域ごとに役員が出席し、地域運営委員長の司会により進行了しました。3時間という限られた時間のなか、8会場において次の項目について説明した後、多くの組合員のみなさんから活発な意見や質問が延べ84件出されました。

懇談会では

- 営農指導事業から
  - ・ GPSレベラーの実証試験について
- 販売事業から
  - ・ 各農畜産物の情勢他
- 購買事業から
  - ・ 生産資材情勢
- 金融共済事業から
  - ・ 総合渉外課の設置に向けて
- 総務企画部門から
  - ・ 総代選挙の結果について

なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、8月開催の定例理事会で協議した後、「Q & A」にてお知らせ致します。



▲意見を述べる北見地区の黒須倫子さん



▲50人が出席して開かれた、北見地区（センター事務所）での懇談会

# 国会決議を守れ!! 「聖域」堅持に“怒り”

主催：TPP問題を考えるオホーツク連絡会議



▲力強く、ガンバロー三唱

7月28日からのTPP交渉関係会合を前に、同月25日、北見芸文ホールに農林水産業団体をはじめ、消費者協会、医療機関（病院・医師会・薬剤師会）等関係者450人が集まり、国会決議の遵守に向け、オホーツクの強い意思を国に訴えました。

緊急集会には、のほりが立ち並び、ハチマキを結び、プラカードを手にした関係者450人で埋めつくされた。

はじめに、主催者を代表し、オホーツク圏活性化期成会々長の櫻田北見市長が「TPPは、農業をはじめ医療まで幅広い分野の地域経済へ影響が大きく、十分な情報開示が行われず、懸念が増幅している。政府には毅然とした国会決議を買い取ってもらいたい」と市町村一丸で立ち向かおうと結束を呼びかけました。続いて、代議士・道議会議員を代表し、武部衆議院議員は、「政府からの情報開示がなく、譲歩報道に農業者の懸念と不安が広がっている。聖域確保に向けて、国会決議を守るよう、政府に要請していきたい」と挨拶しました。

引き続き、北見地区農民連盟の遠藤書記長より情勢報告が確認された後、オホーツク農協組合長会の佐藤

「TPP交渉における国会決議の遵守を求める決議（案）」

平成27年、政府はTPP交渉への参加検討を表明し、速攻に至るまでその内容が国民に知られることもなく、あくまでも政府主導による米農など交渉参加国との協議が進められてきた。

そして去年、米国においてTPP交渉が成立したことを受け、7月28日、オホーツク農協組合が米農ハイブで開催されることが決定したところであり、これがTPP締結に向けて、極めて重大なヤマ場になるものと懸念されている。

TPP交渉が大詰めを迎える中、正式な署名がないにもかかわらず、政府が米農産物の輸入拡大や牛肉・豚肉の関税率の引き下げを検討していることなどが繰り返し報じられていることに対し、農業者をはじめ多くの関係者から不安の声が広がっている。

さらに、TPPが食料、医療、公共事業など地域経済や国民生活に不利益を及ぼすとの懸念は、依然として払しょくされておらず、十分な情報開示や国民的な議論には至っていない。

政府においては、農林水産業の聖域確保、国民に対する情報の提示、自らの安全・安心の堅持、国の土産を振興するような取り組み等に資しないことなどを定めた農林水産委員会における決議を守り抜くよう、強く求めるものである。

以上、決議する。

平成27年7月28日

TPP問題を考えるオホーツク連絡会議

▲満場一致で採択した「集会決議」

最後に、同期成会（総務文教厚生専門委員長）の菊池訓子府町長の発声で、「ガンバロー三唱」し、参加者の心をひとつに、今後の成果を祈念し、本集会を締めくくりました。

その後、土谷美幌町長が「集会決議」を朗読し、満場一致で採択されました。

最後に、同期成会（総務文教厚生専門委員長）の菊池訓子府町長の発声で、「ガンバロー三唱」し、参加者の心をひとつに、今後の成果を祈念し、本集会を締めくくりました。

なお、関係会合は大筋合意には至らず7月31日に閉幕しましたが、各国共に今後交渉の妥協に向けた努力を継続することの確認がなされ、予断を許さない状況が続きます。

# INFORMATION

## 第12回JAきたみらい 乳牛共進会

第12回JAきたみらい乳牛共進会が、7月18日、当JAきたみらい酪農振興協議会の共催で、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われ、66頭の乳牛が体型の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなどの資質を競い合いました。

会場では部門ごとの予想コンテスト、きたみらい牛乳の無料配布、子供向けのお楽しみコーナーや焼肉広場、抽選会などを開催し大勢の来場者で賑わいました。



▲主催者を代表し、開会の挨拶を述べる西川組合長



▲好評のきたみらい牛乳の無料配布



▲審査員を務めた岩見沢市の酪農家・瀬能剛氏



▲手塩にかけた66頭が審査を受けました



▲未経産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん

- 【未経産の部】最高位 「DH チャンス メイク ET」 北見 山内 誠氏 (右2頭目)  
 準最高位 「DH カウンテス レラ」 北見 山内 誠氏 (右1頭目)
- 【経産の部】最高位 「ヨシノファーム オール ORE」 北見 吉野 英之氏 (左2頭目)  
 準最高位 「クレイジヤスクール ギヨリ」 置戸 小山 勇樹氏 (左1頭目)

### 組合員・地域住民に愛されるスタンドに 訓子府給油所セルフサービス導入

JAきたみらい訓子府給油所は7月4日、セルフ化開所式を行い、セルフサービスとフルサービス併用のスプリット給油所としてリニューアルしました。

同給油所は当JAの2店舗目となるセルフスタンドで、今回導入したタツノ計量機は2年前にセルフスタンドとしてリニューアルした同JA中ノ島給油所と同じく、ガス化したガソリンを液化回収する環境に配慮した機能や、軽くて女性でも扱いやすいノズルガンを採用。更には監視室の改装と監視カメラ4台を新設して、日曜営業もこなすこととしました。



▲記念給油を行い、藤森副委員長より記念品が贈られたJA女性部訓子府支部 北野副支部長

開所式には当JA役員やホクレン、工事関係者ら20人が出席し、西川組合長は「訓子府給油所は当農協8給油所の中でもトップの取り扱いを占め、組合員や地域住民に親しまれご利用頂いている。今回のセルフ化で更に町内または町外の多くの方にご利用頂けることを心から願っております」と述べ、その後テープカットを行いオープンを祝いました。

引き続き、女性部訓子府支部の北野はるみ副支部長が記念給油を行い、藤森南地域運営副委員長より記念品が贈られました。

### 「日本農業新聞 全道通信員表彰」 「全道JA広報コンクール表彰」 当JAに“最優秀賞”授与

日本農業新聞通信員は、JAからの届出により、日本農業新聞社から委嘱状を受け、登録されたJA職員が地域行事等の記事・写真を投稿する仕組みとなっています。

この度、日本農業新聞社が主催の『全道通信員表彰』で、当JAが最優秀賞を受賞しました。

また、JA北海道中央会主催の『全道JA広報コンクール表彰』において「ホームページの部」で最優秀賞を受賞。「組合員広報誌の部」で奨励賞、「コミュニティ誌の部」では特別賞を受賞しました。

この賞を契機に、一層気を引き締めて取り組む所存でございますので、今後とも組合員家族皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げ、お礼に代えさせていただきます。



▲広報誌コンクールの表彰を受ける西川組合長

### JA車輛整備工場より 車検キャンペーンのお知らせ

8月1日～10月31日までの  
期間中に、車検予約・入庫で  
次回オイル交換をサービス!!



車検終了時にお渡する「オイル交換無料引換券」をご持参ください。  
 次回オイル交換をサービスさせていただきます。

- ※車検は「車検満了日」の1ヵ月前から受けられます。
- ※本券は車輛整備工場及び、中ノ島給油所を除きたみらい各給油所で使用できます。
- ※本券の使用は軽自動車及び普通乗用車に限らせて頂きます。
- ※オイルは5Lを上限とさせていただきます。また、当JA指定のオイルとさせていただきます。

必要書類 ・車検証 ・納税証明書  
 ・自賠責保険証 ・認印(シャチハタ不可)

お問い合わせ先：  
 JAきたみらい 車輛整備工場  
 住所 常呂郡訓子府町大町103番地  
 ☎ 0157-47-4820



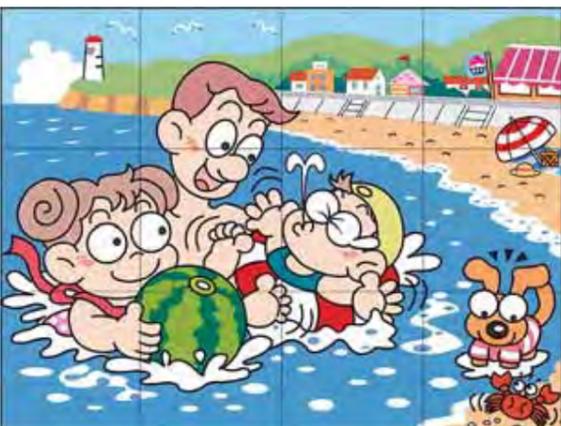
# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 7月号まちがい探しの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「2、3、5、8、11」でした。正解者44名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

( )内は地区名

- ・岩橋 椎奈さま (温根湯) ・大武 義典さま (相 内)
- ・本田恵美子さま (相 内) ・有馬 慎吾さま (置 戸)
- ・笠野 敏明さま (訓子府) ・畠山 由子さま (訓子府)
- ・伊藤 収さま (訓子府) ・寺西かおるさま (北 見)
- ・前沢りり子さま (北 見) ・高橋 カヨさま (端 野)

以上の方々には、JAきたみらい「焼肉のたれ」と「玉葱醤油」をプレゼントします。

## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらい「鶏もも肉の黒カレー」3個をプレゼントします。

**地** 域だよりを見て、相内の花壇は暑さの中みなさんで協力されてきれいな状態を保つため、除草作業をされていることを知りました。部員のみなさんの活動できれいな花壇を長く見ることができてとても嬉しく思いました。

(匿名希望)

きれいな花壇は女性部相内支部の皆さんの努力のたまものです。その努力を知るとさらにきれいに見えますよね。

**今** 年も新規就農者の皆さんがたくさんいて嬉しくなりました。地域を支える大事な人材ですね。

(上常呂地区 合田 まゆみさん)

本当にその通りですね。今後の皆さんの活躍に期待しましょう(^ ^)

**い** ろいろな情報を得ることが出来る。毎回来るのを楽しみにしています。

(匿名希望)

楽しみに思っ頂けて、うれしい限りです。これからも幅広い情報をお届けできるよう頑張ります!

**温** 度の変化に体がついていくのが大変です。もう収穫作業です。みなさん出来秋に向かって頑張りましょう!!元気がなによりだ~!

(置戸地区 仁木 義信さん)

ちょっと前は寒いくらいだったのに最近は蒸し暑かったり、体調管理が難しいですね。健康の維持や農作業事故に気を付けて良い秋を迎えましょうね!!

# VOICE 読者の声

# INFORMATION

## 第6回 理事会報告

7月30日、午前9時より第6回定例理事会が開催され、報告事項15件、議決事項7件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①平成27年度監事視察研修報告について
- ②内部監査(個人情報保護・情報セキュリティ対策)報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤人事発令について
- ⑥平成27年度夏期地区別懇談会意見集約について
- ⑦作況調査(7月15日)報告について
- ⑧平成27年度作付実態調査の集約について
- ⑨アグリシードリース事業の対応について
- ⑩乳牛共進会について
- ⑪生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑫小麦病害対策の経過について
- ⑬H26年産共計玉ねぎ、馬鈴しょの本精算について
- ⑭訓子府給油所セルフオープンキャンペーン実績報告について
- ⑮訴訟案件について

### 【議決事項】

- ①出資減口について
- ②諸規程の改正について
- ③固定資産の取得について
- ④外部出資の減口について
- ⑤当組合との利益相反取引に係る取扱いについて
- ⑥H27年産生乳生産の取り進めについて
- ⑦系統飼料特別対策の実施について

## 「ナイナイのお見合い大作戦! 北見の花嫁」お出迎えに約3,000人集まる!!

テレビ番組「ナイナイのお見合い大作戦! 北見の花嫁」の収録が7月19日、20日に行われました。

7月19日には告知通り、端野公民館横メルヘン広場にてお出迎えイベントを実施しました。集合時間が7時50分という早朝だったにもかかわらず、約3,000人もの市民の方にお集まり頂きました。

J Aきたみらいも地場産野菜の直売や飲食の露店を出店し、イベントを盛り上げました。ギャラリーとしてご来場頂いた多くの皆さん、ありがとうございました。



▲当JAも横断幕を掲げて歓迎しました

## 退職のお知らせ

平成27年7月31日付で職員が退職しましたのでお知らせ致します。

在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様のご厚情を頂き誠にありがとうございました。



### 横田 佳織

- (営農振興部 企画振興グループ)
- ・H23.4 きたみらい農協入組
- ・H23.5 総務企画部 総務グループ兼企画人事グループ
- ・H24.4 営農振興部企画振興グループ

在職期間 4年4ヶ月

## お詫びと訂正

先月号(150号)のおひさまサラダで、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ、深くお詫び申し上げます。

・P1 刈谷 ⇒ 菊谷

2015 きたみ de 街コン

2013年の参加者から 成婚カップル誕生!!

北見の街で新しいお店・出合いを見つけよう!!

お申し込みは7/27日~9/7日 (先着順につき定員になり次第締め切ります!)

参加男女 募集

9/26 sat 18:00~21:30 (受付 17:20~)

参加人数 男150名 × 女150名

参加方法 同性2名1組 参加費 男5,000円 女4,000円

2015年3月31日現在で 20歳~50歳の独身男女

申込方法 下記URLからサイトにアクセスしてお申し込みください。 http://kitamide.com/

お問い合わせ先: きたみ de 街コン実行委員会事務局 TEL 0157-23-4111 (古川・大野)



**【材料：4人分】**  
 アユ ……………2尾      アユの塩焼き用塩 ……適量  
 米 ……………2合      ショウガ ……………1片  
 昆布 ……………5×5cm      ミョウガ ……………1/2個  
**調味水**  
 酒 ……………大さじ2  
 しょうゆ ……大さじ1  
 みりん ……小さじ1  
 だし汁…酒・しょうゆ・  
 みりと合わせて  
 カップ2になる量

## アユの土鍋ご飯

【エネルギー約348kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①米を洗い、30分以上浸水後、水を切っておく。
- ②アユはぬめりとうろこを取り、肛門の辺りを軽く押してフンを出す。優しく水洗い後、キッチンペーパーで水気を拭く。全体に塩を振り、両面に焦げ目が付くように焼く（この後ご飯と炊くので、完全に焼かなくてよい）。
- ③ショウガとミョウガは千切り、ミツバはざく切りにする。
- ④土鍋に米と調味料を入れてかき混ぜ、その後弱火で12分、最後にお焦げを作るために強火にして10秒加熱後、火を止め10分蒸らす（ここでふたは開けない）。
- ⑤アユと昆布を取り出し、アユの頭、骨、ヒレなどを取り除き身をほくして土鍋に戻し、全体をかき混ぜる。ショウガ・ミョウガ・ミツバを散らす（アユのはらわたはお好みにより使用してください）。

### メモ

シンプルなアユを楽しむ夏の土鍋ご飯です。アユは意外にも栄養がいっぱい。カルシウムは真イワシの約3倍、ビタミンEや血液サラサラでおなじみのオメガ3脂肪酸の含有量も魚でトップクラスです。川魚ならではのほらわたも一緒に。

# おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



**【材料：4人分】**  
 豆腐 ……………1丁      **ドレッシング**  
 アボカド ……………1/2個      しょうゆ…大さじと1/2  
 レモン汁 ……………少々      酢 ……………小さじ1  
 キュウリ ……………1本      わさび ……………少々  
 トマト ……………1個      ごま油 ……………小さじ1  
 タコの足 ……………1本  
 大葉 ……………4枚  
 白ゴマ ……………少々

## 豆腐のサラダ

【エネルギー約323kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①豆腐は軽く水切り後、食べやすい大きさに切る。
- ②アボカドは縦半分になり、種を除き、乱切りにし、レモン汁をかける。
- ③キュウリ、トマト、タコは食べやすい大きさに切る。大葉は千切りにする。
- ④豆腐の上に②③と白ごまをのせる。
- ⑤ドレッシングの材料を混ぜ、いただく直前にかける。

### メモ

暑い日に食べたい、サッパリしているけれどコクのあるサラダ。さまざまな香りと食感が楽しめ、どんどん食が進みます。残ったアボカドにもレモン汁をかけてラップに包み冷蔵庫で保管しましょう。

### 編集後記

- ・特集では各地で行われたイベントやお祭りについて取り上げています。今後も端野で行われる太陽祭りや花火大会などイベントが沢山あるので暑い夏をエンジョイしましょう！
- ・小麦の収穫作業がスタートしました。お盆過ぎには玉葱、馬鈴薯の作業が本格化しますが、まだまだ残暑が続きます。
- ・こまめな水分補給をし、無理をせず熱中症や農作業事故に十分注意して下さい。  
 (梅澤 大)

### JAきたみらい概要

(平成27年7月21日現在)

- ・組合員数(正) 1,759人
- ・組合員数(准) 5,973人
- ・組合員戸数(正) 1,121戸
- ・貯金 101,592百万円
- ・貸出金 21,544百万円
- ・出資金 4,976百万円

発行 きたみらい農業協同組合  
 〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号  
 TEL0157-32-8777(4)  
 責任者/西川孝範  
 編集者/宮農振興部:企画振興グループ